

サポート

No. 159

平成31年2月21日発行

秋田県教育庁特別支援教育課 指導班

【事業報告】

今年度取り組んだ特別支援教育課の事業を紹介します。

【病弱・肢体不自由教育推進事業】

近年、病弱教育においては、医療の進歩に伴って、入院の短期化・頻回化が進んでおり、病気の子どもの多くが、特別支援学校だけではなく、小・中学校等及び高等学校で学んでいます。本県は病弱教育を主として行う特別支援学校の設置がないため、関係機関の連携した支援体制の強化が必要とされています。また、肢体不自由教育においては児童生徒の一定数の在籍が今後も予想され、病弱・肢体不自由教育の充実に向けては教員の専門性の向上が求められています。

本事業では、秋田きらり支援学校に病弱教育アドバイザーを配置し、相談活動や理解啓発活動を行う他、各種研修会の開催等、様々な取組により病弱・肢体不自由教育の充実を図っています。

＜今年度の主な取組＞

- ・病弱・身体虚弱特別支援学級、肢体不自由特別支援学級設置校への訪問活動
- ・短期入院児童生徒の「通級による指導」の実践モデル（担当校：秋田きらり支援学校等）
- ・「高等学校に在籍する病弱・身体虚弱生徒の実態調査」の実施による現状把握

【通級指導教員等専門性向上事業】

通級指導教室では、通常の学級に在籍する障害のある児童生徒に対し、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するための指導を行っています。近年、利用者の増加に伴う教室の新設などにより、通級指導教員の養成や専門性の向上が課題です。

そこで、平成29年度～30年度にわたって「通級指導教員等専門性向上事業」を実施しました。各地区において、特に優れた実践を行っている学校を拠点校に指定し、年2回の授業研究会を中心とした実践研修を行い、発達障害に対する効果的な指導方法等について理解を深めました。

事業を通して見いだした指導の要点として、①生育歴を含めた実態把握を踏まえて、特性に応じた効果的な支援方法を見いだすこと、②児童生徒が自分の特徴を理解し、自分に合った学び方を理解すること、③実態把握や指導計画の立案・評価、支援方法の共有などについて、学級担任や教科担任、保護者等との連携を効果的に行うこと等を確認しました。

事業の成果を生かし、通級指導教室を拠点として、各学校における特別支援教育の実践がさらに向上することを期待しています。

平成29年度拠点校		平成30年度拠点校	
能代市立第四小学校	大仙市立花館小学校	大館市立桂城小学校	仙北市立角館小学校
北秋田市立鷹巣南中学校	湯沢市立湯沢南中学校	鹿角市立花輪第一中学校	横手市立朝倉小学校
男鹿市立船川第一小学校		潟上市立大豊小学校	県立秋田明德館高等学校
にかほ市立仁賀保中学校		由利本荘市立鶴舞小学校	

【実践報告】

地域を盛り上げる一翼として～比内とりの市～

1月に実施された「比内とりの市」に参加した県立比内支援学校の様子を紹介します。

県立比内支援学校 教諭 藤田 久美子

比内とりの市は今年で35回を数えます。「見る遊ぶ買う食べる」がテーマの冬のお祭りで、比内支援学校は製品販売を通してこれまで30回参加しています。平成23年からは、地域の協力を得ながら、先輩から後輩へ受け継がれた秘伝のレシピで作ったカレーたんぼやお菓子を販売しています。毎年楽しみに来てくださる方も増えてきました。さらに、今年はやさこい演舞の他に、「たっこもりジャー」によるヒーローショーにも挑戦し、祭りを盛り上げました。



脚本も音響もそして小道具も手作り。新しい比内のヒーローが誕生しました！



先輩から後輩へ。その味は引き継がれ、一杯一杯心を込めて、お客様にお渡ししました。

おめでとうございます

第75回秋田・南秋地区高校美術連盟展連盟賞

秋田県立聴覚支援学校高等部生徒1名が受賞しました。
※作品は秋田県立聴覚支援学校 HP に掲載されています。



【表彰式にて】

文部科学大臣優秀教職員表彰

栗田支援学校 富樫裕子 寄宿舎指導員が、平成30年度文部科学大臣優秀教職員として表彰されました。



平成30年度PTA活動振興功労者表彰

稲川支援学校前PTA会長の渡部博子様、PTA活動振興功労者として表彰されました。(なお、この賞は5年毎に表彰が行われ、今回秋田県からは3名が受賞しています。)

